

八木が谷地区市政懇談会記録

開催日時

平成 16 年 10 月 30 日（土曜日）

開催場所

八木が谷公民館 講堂

質問事項

- ・[断層帯について](#)
- ・[二重川周辺の公園化について](#)
- ・[「ご近所の底力」放映後の反響と今後の対策について](#)
- ・[八木が谷地区のマスタープランについて](#)
- ・[船橋市の地震対策について](#)
- ・[道路脇のコンテナについて](#)
- ・[八木が谷地区の避難道路について](#)
- ・[高齢者の誕生日の健康診断について](#)
- ・[歩行者の安全対策について](#)
- ・[高齢者支援協力バスについて](#)
- ・[車両通行止めパイプの撤去について](#)
- ・[道路舗装について](#)
- ・[公立保育園の民間委託について](#)
- ・[信号機の設置について](#)
- ・[「きらら」の案内看板について](#)
- ・[市民安全条例について](#)
- ・[放置自転車対策について](#)
- ・[八木が谷地区の道路問題について](#)
- ・[介護施設の食事について](#)
- ・[介護予防について](#)

断層帯について

質問

地震が発生すると、北東から南西に向かって断層帯があるというような話を盛んに学者が言います。地殻予報というものは大変難しいとは思いますが、断層帯のハザードマップみたいなものを住民にきちっと知らしめていただくと、防災意識も違ってくるのではないかと思います。

この一帯は、利根地震帯と言うのだそうですが、そういうからには、断層帯

が随分あちこちに走っているのではないかと思います。是非、断層帯の実態というものを市民に教えていただくようにすれば、防災意識ももっと高まるのではないかと思います。地震が起きてから言ってもどうしようもない訳で、是非、問題のある地域、地殻というものを、市民によく知らしめていただくように、ご要望申し上げます。

回答

活断層につきまして、確かに阪神・淡路の時に話題になりまして、船橋も中山競馬場付近から千葉の検見川の先までであるということが、学者の活断層の本に示されてありました。そういう中で、総武沿線は人口密集地ということから、国においても災害があっては困るということで調査しました。市川から総武沿線を通って、船橋市西端から千葉市に伸びる北縁断層があるとのことでしたが、調査の結果、活断層は無いということでした。ただ、東京湾の所に一部あるかも知れないということですが、それもまだ、未確認の状態であります。いずれにしましても、一番危険だと思われました活断層につきましては、調査の結果はありませんでした。船橋では、行田公園から真下の海まで調査し、船橋と検見川付近が心配だったのですが、その結果は無いということです。なお、防災課で公開しておりますので、是非ご覧になっていただきたいと思っております。

二重川周辺の公園化について

質問

平成14年6月に「ホテルの里」という題目で、二重川の改修工事に伴うその周辺の散策等が行われた時期に、この二重川の周辺の素晴らしさ、環境のよさ、緑の多さということを感じ得た一人であります。それで、私はこの二重川周辺を公園化していただきたいということで、15年6月に船橋市役所に出向いた折、河川課を訪れまして、どういうことを行なったらいいのか、また、どういうものを植樹したらいいのかとお尋ねしたところ、説明会ののちに地区連の会長さんを通じてご連絡くださいということでしたので、要望書並びに趣意書をつけてお願いしました。現在、お願い中ですが、是非、少子高齢化社会の中で、親子の絆、小・中・高生、若い人たち、女性、高齢者の憩いの場所として公園化していただければ、これに幸いするものはないと思うのです。河川課の説明によりますと、桜の木は非常に害を及ぼすのでダメだと。ただし、それに代わるものであればよろしいのではということですが、まだ公園化のお話しはいただいておりません。趣意書並びに要望書は、地区連会長さんを通じて高野台6連合の自治会会長さんにも提出し、現在、10数名の団体の会長さん、自治会の会長さんの賛同をいただいておりますので、今後、是非公園を実現させていただきたいと切に願っているものであります。

回答

二重川につきましては、水害の防除、その他に川と人々がお互いにふれあえるという多自然型の川づくりを目指しております。そういった観点から植樹の必要性というものがありますが、その中で、やはり樹木をどういうものにするか、今お話しにありましたように、特に隣接地の方々に迷惑を及ぼさないような対策をどのように講じて行ったらいいのか、そういうメンテナンスといえますか、問題もあります。しかしながら、公園化あるいは堤を利用した緑道、そういったものについては、地元の皆さんと検討する必要があると認識しております。

いろいろお話しがあった訳ですが、なるべくなら、各方面から要望が来るのではなくて、実際他の方々からも来ておりますので、その辺については、なるべく一本化を図るなど、意見交換のしやすいような状況の中で進めていきたいと思っておりますので、その節はよろしく願いいたします。

「ご近所の底力」放映後の反響と今後の対策について

質問

昨年 of 年末、NHKの難問解決「ご近所の底力」八木が谷地区の足の放映について、反響とその後の対応、今後の対策についてお伺いします。

回答

「ご近所の底力」というNHKの番組につきましては、具体的に企画部で担当させていただいて、総合交通計画課長などもそこでコメントしておりましたが、それに対する市民の方々、あるいは周りの方々からの直接の反響といえますか、ご意見というのは、私ども伺っていないというのが実状であります。それに対する対策についてですが、「高齢者あるいは障害者の方々の交通の便を」ということで、自動車学校の送迎バスを活用した交通の移動手段というのを、教習所さんにいろいろご相談をしていたところでした。そういったことが、放送の後ではありますが、本年の4月から実施出来たことであろうと思います。この地区で申し上げれば、船橋第一教習所の送迎バスを活用いたしまして、1ルートではありますが、小室からセコメデック病院、豊富小学校、市立養護学校、そして船橋北高等学校、八木が谷第3号公園を通り教習所に帰るコースであります。それについては、空席を65歳以上の高齢者の方々に開放していただくという事業であります。それから、北老人福祉センターの送迎バスを利用いたしました送迎事業は、午前中2便、午後2便の日替わりコースではありますが、三咲駅を中心に周回するコースというのも実施して来たところでもあります。

一部交通不便地域があるということで、交通にはご苦勞なさっている部分もあろうかと思えますし、要望も高いというようなことから、市として努力をし

て来ております。北総白井病院への新京成バスの延伸も今年度中には実現する予定でありますので、ご理解いただきたいと思っております。

八木が谷地区のマスタープランについて

質問

この地区のマスタープランはあるのですか。あるのであれば、地区の住民とまちづくり検討委員会を作りながら、さらに、この地区のマスタープランというのを作っていくために、市の原案を出していただければありがたいと思っております。そして、それに基づいて計画的に、まちづくりを総合的に、ただ道路だけではなくて、総合的な点を福祉、教育も含めて地区の皆で検討していけるような、そういうたたきのプランを出して貰いたい。

回答

市では、概ね20年先の船橋市の将来像とこれを実現するためのまちづくりの目標を定めたマスタープランを、平成13年の2月に策定しております。このマスタープランでは、船橋市を概ね10の地区に分けまして、各市民の方々からアンケート調査、あるいは市民意識調査、さらには地域別説明会等を実施した中で、作成してきております。

八木が谷地区のまちづくりの目標といたしまして、このマスタープランでは、5つ上げております。

一つ目といたしましては、豊かな自然環境を活かし、農業と身近にふれあえる、うるおいのある住宅地の形成を目指す。

二つ目といたしまして、安全で便利な道路網を形成し、公共施設や周辺の地域などとの連絡の良いまちを目指す。

三つ目といたしまして、樹林地や農地が広がるみどり豊かな環境を活かし、水とみどりのネットワークを形成することにより、南北環境軸を連携する自然と農にふれあえ、みどりが映えるまちを目指す。

四つ目といたしまして、自然林や農地、集落などの景観を活かし、ふるさとの感じられるまちを目指す。

五つ目といたしまして、道路が狭く木造の建物が密集した市街地の環境を改善し、安心して暮らせるまちを目指す。

ということになっております。

この実現のためには、行政だけでは出来ない訳でありますので、市民の皆様と一体となって事業を進めていく必要があろうかと思っております。このため、既に都市計画部の中にまちづくりの相談窓口を開設しております。いろいろな情報等もありますので、窓口を活用していただければと思っております。

船橋市の地震対策について

質問

船橋市に直下型の 6 強の地震が来た場合、大丈夫なのか、その点をお伺いします。

回答

船橋に 6 強の直下型地震が来たら大丈夫かということですが、阪神・淡路や今回の状況を見てそのとおりだと思います。その対策として、公共施設については若干遅れてはありますが、学校を中心に補強を進めているところであります。また、皆さんの住宅につきましても、阪神・淡路の地震を受けまして、住宅関係の課から、耐震補強については、「こういうふうにやったらいいでしょう」という提案について、広報等に掲載したり、住宅政策課等の窓口でパンフレットを配布しております。また、耐震型のモデルハウスを作りまして、夏見の住宅展示場で展示しております。確かにその辺のPR等が若干、阪神・淡路が起きまして 9 年か 10 年近く経って来まして、薄れているのかも知れませんが、6 強が来た場合を想定しますと、かなりの被害が出るのではないかと思います。今回も、応急判定士の建築技師が中越の方に入っております。外見上は何ともないけれど、中の家具は倒れているというような報告も受けております。以前にもお知らせいたしましたが、必ずタンス等も補強しましょうというご提案を、広報等を通じて行っております。また、5 強の地震があった場合には各小学校へ、夜間であっても 30 分以内に職員が配置しまして、皆さんの対応、避難所としての開設について、皆さんのご協力のもとに行っていくような形で、毎年 8 月か 9 月の日曜日に、住民参加型の防災訓練を実施しているのはご存知のことと思います。

いずれにしましても、今回の中越地震をみて分かりますように、支援というのは 3 日後、4 日後になります。そんなところから、3 日分の自立できるような対応をお願いします。今回の中越地震を受けまして、市としましても、いろいろな方面についての検討をさらに進めていきたいと思っております。

道路脇のコンテナについて

質問

道路のすぐ近くに、コンテナの箱が積んである所があります。コンテナの箱が 2 段になっておりまして、多分基礎ボルトも繋がっていないと思います。私が見た限りでは、おそらく 2 階の所もボルトでは繋がっていないと思います。湯浅スポーツの所の信号機付近で、ちょっとした大風とかあるいは地震で崩れます。そうすると道路の方に倒れてくる可能性は十分あります。また、滝不動の方に曲がっていく、こちらから行って右の方にも何段か積んであります。道路

に面しているコンテナ、それは是非、除けて貰うとか、あるいは何か安全にして欲しいということでもあります。

回答

現地を確認させていただきたいと思います。担当がいないので申し訳ないのですが、私どもも万全を期してまいりたいと思います。

八木が谷地区の避難道路について

質問

八木が谷地区の防災道路といますか、避難道路のマスタープランといますか、そういったことの内容を説明していただきたいと思います。

回答

八木が谷地区には非常に狭い道路が多いことから、シダックスの所から入った00-113号線についても避難道路という考え方の中で、全幅8.5mに拡幅し、片側1.5mの歩道の整備に取り組んで来たところでもあります。なかなか地権者の協力が得られなかったのですが、地元の熱意等そういう中で地権者と合意形成に至って、今年、来年と森林の所を買わせていただき、来年からさ来年に掛けては道路を拡幅して綺麗な状況にして行きたいと考えております。そうすることによりまして、災害時等々車が走れる状態になるだろうと思っております。八木が谷地区の道路は非常に狭いですが、拡幅する場合には、沿道にたくさんの方がいらっしゃるので、そういう方々のご協力が得られないと出来ないということがあります。一つの方法として、災害に強い道路を作っていくという考え方の中では、皆さん方のブロック塀等、倒壊の恐れのある塀がたくさんありますので、そういうものを極力植栽等に代えていただいて、倒壊の恐れのない沿道にしていただければ、若干でも避難路的なものになるだろうと考えております。ただ、現在狭いところで、駐車場等になっている所については、待避所的な考え方で拡幅するなど、安全な対応が出来るような方法は考えていきたいと思っております。

高齢者の誕生日の無料健康診断について

質問

高齢者の誕生日の無料健康診断につきましては、船橋市内の医療機関ですと何事もなく受けられるのですが、他市の医療機関では出来ないと言われております。高野台で病院が一番近い所は、北総白井病院です。今度バスが通りますので、北総病院までは非常に便利が良くなるのですが、白井市となっておりますので、誕生日の無料健康診断はそこで受けられない。そうすると、二和病院、大島嬉泉病院、また、一番近い所の三咲台診療所でも、地区から距離はある訳

です。高齢者になりますとなかなか遠い所には行きにくい。近隣市の医療機関でも健診が出来るように、また、もし出来ないとしたら、今後、何とか手を打って貰えないものかと考えております。

回答

健康診査につきましては、それぞれ受けていただくということで、毎年ご案内を差し上げているところであります。お話しにありましたように、病院が無いということですが、できれば、ご存知だと思いますけれども、いわゆるホームドクター、かかり付け医を作っていただきたい。それが一番、急に何か起こった時に良いだろうということもありますので、私ども医師会にお願いしております。ただ、ご指摘がありましたように、北総病院は市外になりますので、医師会と出来るかどうか協議をさせていただき、それから病院とも協議させんと、その辺はこれから取り組んでみたいと思います。ただ、今申し上げましたように、体のことですので、時間を争うことになると思いますので、出来るだけご近所にホームドクター、かかり付け医を作っていただければありがたいと思います。

歩行者の安全対策について

要望

シダックスを入れて来ますと右側に森林があります。鬱蒼と茂っています。下草も茫々で、現場を見てもらえば分かりますが、たとえば、小さなお子さんなんか引っぱり込まれたりしたら、道路から全然見えない状況です。歩道を付けるということも歩行者を守る一つの方法ですが、下草を刈ったりすることを考えて欲しいです。そこは二和向台の駅へ通じる非常に歩行者も多い場所ですので、防犯上非常に難しさがあるとは思いますが、回答は要りませんのでお願いします。

高齢者支援協力バスについて

質問

7月1日から北老人福祉センターのバスが開通しましたが、現在の配車状況では、相当に使いにくいので、改善していただけたらと思っております。

ひとつが、今、月・水・金の4回廻っておりますが、実はループになっておりませんので、行ったきりで帰って来れないというようなことで、非常に使いにくい。回数を出来るだけ増やしていただくのと同時に、ループにさせていただくとありがたい。もう一つは、二和向台の駅の方を経由していただけないのか。というのは、銀行・郵便局・二和出張所等があり、そちらの方に行く用事がありますので、できれば二和向台の駅を経由していただければ非常にありがたい。

もう1点は、65歳以上の方のための支援事業ではありますが、見るところによると、利用率はあまり良くはありません。ということは空席がいっぱいありますので、いっぱいになるまでは65歳以上と言わずに、誰でも乗せていただきたい。

回答

ルートの件ではありますが、午前中の2便が北老人福祉センターを出て時計と逆回りの便になっております。それから、夕方の便でありますけれども、概ね4時と5時の便は、先に三咲の方に行ってから時計回りで廻るような便となっております。確かに、いろいろな形の中での運行というのが望まれていると思います。ただ、ご承知のように、老人福祉センターの送迎用のバスであり、空き時間を無理やり作っていただいて、送迎に支障のない範囲の中でようやく運行しているということですので、ひとつその辺はご理解をいただきたいと思っております。ただ、試行で現在実施しておりますので、将来的なことを申し上げれば、いろいろなルートの設定が可能なのであれば、それも検討していきたいと思っております。二和向台の駅経由というお話しは伺っておりますが、二和向台の駅に入りますと帰ってくるのが大変です。踏切を越えて向うに行きますと、公民館のところでUターンする他ありません。バスですから、なかなかUターンして来るのが難しいという状況もありますので、ルートから外れているのはご理解願いたいと思っております。それから、空席があるのではないかというお話しではありますが、基本的には高齢者の方々あるいは障害者の方々には開放している訳で、交通弱者の方々への対策ということで現在始めている事業でありますので、確かに空席があるから勿体無いというお話しは分かりますが、出来るだけ高齢者の方々にご利用していただきたいと考えております。

利用状況を見ますと、8月と9月の2ヶ月で174人の方々にご利用いただいております。1日2便で日替わりコースということで、大穴方面も廻っておりますので毎日ではないのですけれども、できるだけ多くの方々にご利用いただければと思いますし、ご利用に際しまして、ご意見・ご要望があれば、総合交通計画課にご意見としてお寄せいただければ、それも参考にしていきたいと考えております。

車両通行止めパイプの撤去について

質問

私の提案する内容は、市民生活と相互助け合いの問題です。最近の被災地の状況をテレビで見るたびに、その重要性を痛感させられます。ここで市長さんをお願いしたい件は、公道に立っている杭を取り除くこととあります。この場所は、八木が谷公民館から八木が谷小学校へ行く途中にあり、地番では八木が谷2丁目17番地の前になります。この杭は平成13年の春に、それまで立てら

れていたコンクリートの障害物が市のご努力により取り除かれました。そしてその後立てられたものであります。過去の経緯は改めて申し上げることはありませんが、天下の公道に、即ち船橋市道に立っているこの姿は誠に異様です。この状態を続けること理由は見出せません。早急に取り除いていただくことを提案いたします。

回答

昔、通称「ベルリンの壁」といわれていた所だと思います。平成13年、市で道路用地として買収し、道路形態にしました。それまでは、公園の脇の道僅かな所を、自転車も通りにくい非常に不便な状況でした。現在、確かに柵がありますが、自転車がスムーズという程ではありませんが通れる状況になっております。市としても道路用地として買収しましたので、本当は通過交通を促したいという考えがあります。しかしながら、その前までは個人の所有地であり、道路という形ではなかったのです。そこにそのような塀がありまして、その反対側に新たに開発あり、そのような状況の中でお買いになった方からすれば、通過道路ではなかった状況です。そういういろいろな状況があります。市としては、やはりそういう方々の了解を得ながら、解決していかなければならないのかなという考え方を持っております。13年当時、町会の方からも、車両は通さないで欲しいという要望が出ております。こういう状況でありますので、もし町会の方から要望があれば、お話し合いをさせていただきたいと思っております。そのような中で、現在、通行止めになっているという状況がありますので、2車で通そうとすると通過交通が多くなり、非常に問題があるだろうということであれば半分でどうだろうか、というような考え方も出てくると思います。ですからその辺を踏まえながら、理解していただけるよう努力をしてまいりたいと考えております。

道路舗装について

質問

ヤマザキストアから御代川さんまでの道路の舗装についてですが、自分の家の方の工事は第2期になっているらしいのです。議員さんのチラシに載っていますが、17年の2月の予定とのことですが、もっと早く年内に出来ないのかなと思っております。この道は坂になっていて、雨が降ると水が凄いです。事故も多発していますので、何とか年内にやって貰いたいと思うのですが、その辺の期間はどのなのでしょう。

回答

昔「アイバ道路」といわれ、私有地ということから、なかなか所有権が移転されなかったというのが実状であります。そういう中で、皆様方が努力され、

自分達で購入され、自分の財産として市に帰属したという経緯があるのは十分承知しているところであります。通常であれば、市道につきましては、砂利道ですと受け取らない訳ですが、地元の方々も協力してきたということから、舗装されていなくても帰属を受けております。そういう中で、ガス、水道、下水道等が埋設されるようになりましたので、それぞれの工事の中で、場所を決めて取り組んでいるところであり、1日も早く舗装していきたいと考えております。

公立保育園の民間委託について

質問

保護者の中で、公立保育園を民間委託にしてしまうという問題に不安の声が上がっております。船橋独自でやっただけの質の高い保育を無くすのではなくて、待機児童も多いので、新しい保育園を設置していただくとか、保護者に直接説明も無いまま民間委託されてしまうのでは、という不安がかなりあります。未来を担う子どもたちの歳出の削減ではなくて、保育園は公立で運営していただくことをお願いします。

回答

基本的には、民間に出来ることは民間にお願いしたいということで、保育園につきましても、今の予定では18年度から、全部ということではなく、出来る所から実施していきたいと考えているところであります。委託につきましては、保育水準を現状から落とさないということを大前提として、現在市内で検討を進めているところであります。議論が纏まりまして、市の考え方として打ち出せる時期、そう遠くないと思っています。その段階で、市民を始めといたしまして、関係する皆様方に公表して、その中で、いろいろなご議論をさせていただければと思っていますところであります。ご承知のとおり、現在、公立保育園が27園、民間いわゆる私立保育園が22園あります。それぞれ立派に運営されているところであります。特に私立保育園におきましても、きちんと保育運営されているということもありますので、ご心配なことは分かりますが、市といたしましても、財政の問題等から検討しているところでありますので、ご理解いただければと思います。

信号機の設置について

質問

八木が谷1丁目の城戸商店近くの十字路ですが、朝の通学・通勤時間に、PTAで交通指導していますが、信号機が必要な場所と思いますので、信号機の設置を提案いたします。

回答

咲が丘緑地公園の裏側の道路とシダックスからの道路の交差点だと思いますが、信号機を設置する場合には、一般的に言われておりますのが、道路幅員が、車2台がすれ違うことが出来る約5.5m以上ない道路は、所管の公安委員会に相談した中でも、信号機で制御することは非常に難しいという状況であります。もうひとつは、歩行者が安全に待機出来る溜まり場があって、しかも信号機を設置する余裕がある所でないと非常に難しいということですので、今の状況の中では、信号機の設置は許可されないだろうと思っておりますので、ご理解をお願いします。

「きらら」の案内看板について

質問

「きらら」では、市、自連協、社会福祉協議会等の一般市民自由参加の講演会がよく開催されておりますが、6階まで行かないと何をやっているのか全然分からないのです。多くの方はJR側から行きますので、JR付近の入口に、本日こういうシンポジウムや講演会を開催しますという案内看板を、是非立てていただきたいと思っております。

回答

「きらら」の行事のご案内につきましては、皆様が分かりやすいように、今後検討してまいります。

市民安全条例について

質問

今年4月1日から市民防犯課を設置していただきまして、大変活躍が期待できるところであろうと思っておりますが、千葉県では、防犯関係の条例を10月1日から施行しております。船橋市は、その関係で関連の条例の施行予定はどういうふうになっているのか伺っておきたいと思っております。私は、治安というものは一度犯されたらなかなか回復が難しいということで、事前の対策が非常に大事だと思っております。そういう面で、例えばこの地域で申しますと、二和向台駅周辺の自転車の放置は、目に余るものがあります。こういうものを放って置くこと自体が、犯罪の誘因、遠い原因になるということは明らかであります。9・11事件の、ニューヨークのジュリアーニ市長の達見ですが、破れ窓理論は非常に有名であります。そういった落書きだの、市民として本来あるべきではない行動を放任して置くというようなことが、一番、犯罪のひとつの情勢の元になるというように考えられる訳であります。そういう点で、自転車の放置等も、治安との関連でひとつ考えていただきたい。津田沼駅の周辺は目に余ります。

そういう面で、治安というものの関連の条例で、ひとつ関連付けて考えていただきたい。

回答

市民安全条例につきましては、確かに4月1日から市民防課を設置しましたが、議会からも、条例を先に作るべきではないかと、ご指摘をいただいております。

私ども、市民の皆様方が安心して暮らせる地域づくりのためには、行政はもとより、警察と各団体が連携して良い街をつくるということで、現在、努力している訳であります。そのために、市全域的な組織、市民防犯推進協議会をこれから立ち上げるのですが、これまで準備委員会を3回ほど開きまして、規則、メンバー等を決めてまいりました。私どもは、その協議会の中で、皆様のご意見を十分反映させた条例を作っていきたいという、基本的な考えを持っております。今後、議会とも十分議論した中で、市民の皆様方のご意見を十分反映させた、市民安全条例制定に取り組んでいきたいと思っておりますので、ご理解いただきたいと思っております。

放置自転車対策について

質問

二和向台駅の交番の前に自転車放置禁止区域とわざわざ網を張った看板がありますが、一人一人しか歩けないぐらい駐輪しているので、私は何回も交番に行ったが、罫が明かないのです。そこで、東署に直接、「しっかりやれ。交番が舐められているじゃないか」と話したところ、カラーコーンを立てて、交番の前だけはとにかく無くなりました。ところが、その隣の整骨院の前には放置自転車がある訳です。その隣のふとん店は堪りかねて、自らカラーコーンを買って、自転車の放置を防止しているのです。この間聞きましたら、市の人から、「カラーコーンをこういうふうにはやってはいかん」と言われたというのですが、市民が自衛の措置としてやることについて、「文句をいうはずがない」と私は申し上げました。とにかく地方自治の本質というのは、団体自治と住民自治、住民自ら出来ることは自らやっていくということが本質でありますから、そんなことを市が言うはずがないと思うのです。いずれにしても、自転車の放置の問題は、大変ご努力をして、監視員を置いていただいておりますが、監視員がいなくなれば元のおりになってしまうという実状です。是非、根本的に考えていただきたい。すぐ近くに、有料駐輪場がある訳ですから、そのような横着は許さないぞという、市としての固い決意を、是非お願いをしたいと思います。

回答

船橋市には、9路線35駅と非常に駅が多く、各駅に駐輪場を設置し、いろい

ろ対応して来ているところでもあります。違法駐輪の問題というのは、再三、いろいろな所で言われております。昨日、津田沼で違法駐輪のクリーンキャンペーンを実施したところでもあります。腕章を付けて実施している中で、「そこに止めては困ります」と言っている目の前で、いくら注意しても止めて行くのです。津田沼にも、駅から少し離れた所ですが、習志野市と共同で作った駐輪場があります。その駐輪場の3階はがらがらに空いており、そこから少し離れた所にも駐輪場がありますが、そこも満杯になっていないというように、導線上、自分の家から駅に行く間の一番良い所はないと、止めて行かないというのが実状であります。先程お話しができましたように、朝5分早く起きて、少し手前に止めて行っていただくとか、そういう努力をしていただきたいと思います。

二和向台の駅の所にも3層の駐輪場がありますし、新京成の駐輪場もありますので、そういう所を使っただけならば、そういう問題もないのかと思います。障害者ブロックの上に止めて行って、目の悪い方々等がそういう所で転んでしまうということがありますので、広報等を通じましてお願いしておりますが、あくまでも、止める方々のモラルが一番大事だと思っております。今後も広報等を通じながらお願いしてまいりたいと思っております。

カラーコーンのお話しですが、市に、「カラーコーンは歩くのに邪魔だから撤去してくれ」というお話しが、再三来ております。そういう中でいろいろ対応して来ている訳ですが、皆さんそれぞれ自分の考えの中で、いろいろお話しして来ております。「道路上でああいうものを置いていいのですか」と言われれば、我々は、道路上には違法駐輪もいけない、カラーコーンも置いてはいけないと言わざるを得ないのです。何も無い中で歩いていただくのが基本ですし、災害上いろいろ問題がありますので、市としては、道路上に何も置かないで、スムーズな通過交通あるいは歩行が出来るよう、皆様のご協力で、そういう街にして行きたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

要望

カラーコーンの問題ですが、「カラーコーンを除いてくれ、けしからんじゃないか」と言うのは、止められないからなのです。それは、住民の自治的なひとつの防犯措置というか、考え方なのです。だからそこは、あまり杓子定規なことを考えずに、カラーコーンを置かなかつたら全部また自転車を置いてしまうのです。そのところをご理解いただきたい。こちらから願います。

それから、私が今申し上げたのは、市民の安全条例の中に自転車の違法駐輪を盛り込めないのかな、ということをお願いしたつもりなのですが、それを一度考えていただきたいと思います。

八木が谷地区の道路問題について

質問

船橋市に住んで20年近くになりますが、驚きましたのは、全国的に見ても非常に道路状況が悪い、交通量の割りに道路が狭い。これは、私が知る限りでは、東京都の世田谷と船橋は双璧ではないかと思えます。確かに、道路を拡幅するというのは、用地買収それから立退き補償、営業補償その他大変費用が掛かりますので、非常に長期的に取り組まなければならない問題だと思います。それで、私は、市役所に行って都市計画図を購入してよく見ました。残念なことには、八木が谷地区を通る都市計画道路が1本もありません。おそらくこれから都市計画道路を認定したとしても、20年、30年、あるいは50年掛かるかも知れません。そういう長期的なものであるだけに、是非、都市計画を早急に、特に道路の面に力を入れていただきたい。差し当たって、30年、50年先の問題ではなくて、ここ5年、10年の問題が大事でありますので、特に、八木が谷地区に住んでいる者にとりましては、二和向台の駅に、車で行く、自転車で行く、徒歩で行くそういう手段、それから三咲駅へ行く交通ルート、これらを可能な限り出来るだけ早く拡げていただきたい。特に、八木が谷小学校、八木が谷中学校へ通学する子どもたちは、大変狭い歩道や歩道の無いところを歩いております。1mもあるか無いかの歩道というのは、電信柱を立てるためにあるようなもので、やはり歩道というものは、2人位が横になって歩けるような、最低1.8mあるいは2mは必要だと思います。本当は両側にあると良いのですが、とりあえず片側だけでも設置していただきたい。先だって、湯浅スポーツの近くの所に、歩道のない反対側の一部分だけ、信号機を付けて歩道が出来ました。あれだけでも、だいぶ違います。時間の掛かる、金の掛かることだけに、是非地道に、道路整備をしていただきたいというのが念願であります。それから、交通へき地の対策でバスを通すという問題ですが、これも新京成バスだとか、タクシー会社とかいろいろな所にあたったようですが、結局は道路が悪くて、マイクロバスが通せないということが一番ネックになっています。そういう意味もありまして、地域循環のマイクロバスが通せるような、道路を優先して整備していただきたいと思います。先日、道路建設課へお邪魔しまして、今回拡幅される予定の113号線は、どういうことで整備されるのか、都市計画道路法に基づく拡幅なのかと伺いましたら、認定道路の現況道路幅員が認定道路に満たない部分を拡幅するのだという話でありましたので、そういうところは各所にあると思いますので、まず道路認定作業を是非進めていただいて、認定幅員に満たない現況幅員をまず拡幅していただきたい。その他に地域の住民の意見を聞いて、ここの隅きを大きくした方が良いとか、特に道路の隅きり、車の右折・左折といったものがし易く、交通渋滞を解消する有力な手段ですので、是

非お考えいただきたいと思います。

回答

八木が谷地区には都市計画道路が計画されていない訳ではなくて、3・1・37号線については、みやぎ台の一部を通して県道の北側に計画されております。これは、成田街道のバイパス的な考え方で計画されております。この他の都市計画道路、確かに計画されておられません。しかしながら、この八木が谷地区につきましては、00-113号線の拡幅整備、あるいは、北総白井病院の前面については、歩道も何もない非常に狭い道路を歩道と車道を完全に分離しまして、木下街道、市川・印西線から夏見・小室の県道まで抜くことによって、狭い道路を通らないで抜けることができる道路にしようということを取り組んでおります。先程お話しがありました認定道路は、主要な幹線、都市計画道路だから拡げるのではなくて、地区の重要な線となっているもの、1級・2級道路とありますが、そういうものについて、拡幅しております。都市計画道路だから拡幅する、都市計画道路でなければ拡幅しないということではありません。現在、要望が出て、危ない交差点等については、極力地元の意見を聞きながら、道路改良を進めていきたいと考えております。この近くでいうと、鎌ヶ谷大仏の十字路についても、県にお願いして、県の方でも地元の意見を聞きながら、どういう改修が良いのか、というように進めていただいておりますので、市としても、道路、その地域の地域にあった、その中でどのような道路が出来るのかどうか、いろいろ考えながら整備していきたいと思っておりますので、ご意見があれば言っていただければありがたいと思います。

介護施設の食事について

質問

介護施設につきましては、都心から比べますとはるかに良い環境であろうと思います。本当にありがたいと思っております。実は、この中身が少し気になったことがありますので、お聞きしたいと思っております。入所者が入りますと、中にいる介護士さんがとても親切に暖かく迎えていただいております。非常に残念なことに、お昼の食事が、全部冷たいのです。これは、入所者は弱者でありまして、なかなかその場で、たぶん発言出来ないのであろうと思います。このような所が、他の施設にもあるのではないかと、そんな気がします。チェックなり指導なりしていただけたらと思います。

回答

冷たい食事を提供するという事は、本当に困ることでありまして、あつてはならないことだと思います。施設につきましては、船橋で独自に、昨年10月から介護相談員を介護保険施設に派遣して、利用者の不安や利用に対する苦

情等を受けていただき、対応してもらおう形になっております。しかしながら、介護相談員の方たちが仲介役になっている訳ですが、利用者としてはお話し出来ないとおっしゃるかもしれません。一部、介護相談員については、受け入れていただけない所もありますが、今後も継続してお願いして行きたいと考えております。それから、入所者の利用に関する苦情につきましては、介護に係る便利帳がありますが、この中で、施設に直接苦情を言えるようなシステムにもなっておりますが、利用者の方が、施設側になかなか言えないという実状があります。市の介護保険課、あるいは24の地域在宅介護支援センターがありますが、そういう在宅介護支援センターでも苦情等お受けしておりますので、遠慮なく、言っていただきたいと思います。もし、差し支えなければ、終わった後、具体的に施設名が分かれば、教えていただければありがたいと思います。

介護予防について

質問

介護予防ということが言われております。市として、介護予防の考え方、あるいは具体的に取り組んでおられることがありましたら、お聞かせ願いたいと思います。

回答

介護予防については、いろいろありますが、介護保険法の見直しが、5年経過する中で、国の方でも進められております。今日の新聞等でも、保険料についての記事が載っておりましたが、大幅な見直しがされます。その大幅な見直しの中で、新予防給付のことも入って来ます。そういう中で、自分たちが、介護が必要にならない、例えば、要支援、要介護の人達が増えないように、先程、局長からお話しがありましたが、万が一、何かあった時の相談役として、かかり付け医を持っていただく、ホームドクターを持っていただくというようなことで、やはり、自分自身が元気なうちから、介護予防に意識を持っていただくということで、現在、地域密着型の地域福祉計画を策定しておりますが、皆さんと一緒に、自宅にこもらずに、介護予防に繋がられるような施策を、今後、進めていきたいと考えております。